



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 都市史論                                                                              |
| Author(s)        | 鈴木, 栄太郎                                                                           |
| Issue Date       | 1966                                                                              |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/77282">https://hdl.handle.net/2115/77282</a> |
| Type             | manuscript                                                                        |
| File Information | ix_X066_01.pdf                                                                    |



# 都市史論

十六日(日)  
三井物産

都市の歴史

2000年

東方の古都市

ハビシ、エジプト、メソポタミア地方の都市

ギリシアの都市

ローマ帝国

ローマの都市

中世都市

10-15世紀

10-12世紀

近世都市

16-18世紀

産業革命

18世紀後半より  
19世紀初め

ロンドンは十六世紀より  
台頭の傍にあり

タオリス、ケルヌス、は西紀一世紀代の子実



およう眠中におかれましては、

一、泉の増に任じか、追つた所は、何れも、  
てあゝ。うゝ、

一、口泉の中央、権力、大任、常に、強かつ  
た。

一、群、望、理、武士の、数は、あゝ、て、あゝ、て、あゝ、

水には、自、野、し、同、て、あゝ、て、あゝ、て、あゝ、  
一、戦、口、此、れ、いゝ、来、つ、強、さ、よ、め、は、武、士、で、武、士、  
は、武、士、を、相、手、に、し、た。

一、口、泉、は、部、布、強、清、の、時、代、は、あゝ、た。

口、泉、強、清、が、藩、内、強、清、の、時、代、で、あゝ、た。  
古、代、は、豪、族、部、内、強、清、で、あゝ、た、ら、う。

最古の文は、  
都市の宗、  
よりシヤのお  
りスは都市の宗  
ローマも都市  
に宗ありあま  
る。けふこ

ル。

自由経済の中へ都市

消費量は全額供与をせしめ  
配給法は人給後

（東京の自由経済の発展は、  
戦後の自由経済の発展に  
影響を及ぼす）

月84、後日、  
大々

○市民生活の向上は、  
P.6は消費生活の向上

○札幌の経済発展は、  
三校（P.11）

○他人経済と共同経済  
P.11  
P.8

# 都市発展に關する市場法規

「ドイツは都市發展の核心は市場にある」といふ。「市場の設置、商人的生業に從事する人々の定住が、即ち都市の建設を呼ぶのである」といふ。「商人の法律から市民の法律が派生して」P.80

「この事は市場法から都市法が派生して」といふ。ハーデンのクードルフツェル「市場は一定の地域を有し、この地域には特定の市場裁判と特定の市場法とが存在し、市場には平和を保障され、市場裁判には商人達が自身及び外來者を判決し、争いの所ならず市場地内での土地及び市場平和の違反罪といふ刑事をも判決す。

……クードルフツェルにあるのは都市的な制度の基礎は市場特許状にある」といふ。……  
「封建時代は……封建民は市場地内では自由な財産(所有)を取持するところへ来る。商人階級の内部では身分の差別が消えてゐる。市場特許状は職能の所有により、社会的な対等のみがある」といふ。この市場特許状から都市的な行政が生じたといふ事は論じた。P.81

「アイツとインズの研究」(Rudolph

Schum, 1841-1917)が確定されたことを示すことは

都市性は市場性の連続発展であり、都市制

度は市場制度の連続発展であり、都市行政は

市場行政の連続発展であるといふ命題である。

このからインズは主張する。

もしインズが主張をしない到達した考へは

「市場性」か「市場性」か「都市性」にその起

源とその所有形態を求めたところである。

d.

日本郵市

歴史的意義

江戸時代の江戸に於ける郵便の発展

市街の発展と郵便の需要

下町に於ける郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

江戸時代の郵便の発展

定期市 平安末期に始まる。

宿屋

鎌倉末期には京都・河内・山崎・長

門前町・加賀市・の始めは港町・後に城下町

宿屋宿屋町

門前町・宿屋町の政令は社奉行はア・しろい・子  
た安んじ地であつたといふ。





堀 平 尺 に 付 目 (4)

富 山 尺 に 付 札

フクダ カヤ イサキ ン アサヒ ン 三 尺 目 目

一 フ / イ 中 に 毛 入 の 付 込 に フ い 二 寸 目 目

二 フ / マ エ ア ヤ ア ク リ コ 三 尺 目 目 付 込

付 込 付 込 付 込 付 込 付 込 付 込 付 込 付 込

同 等 物 尺 に 付 札

同 等 物 尺 に 付 札

道社協社會福祉研究所

No.

習とは人と人との間の相互  
制約の開始である

人は銀器を借用し始めて俄かに文化  
を向上させたが、  
たゞ人は原始的な  
夜を延びたが、  
俄かに文化を向  
上せしめてくれた

多

No.

里石町より弘前へのヤッポ統計一三四回

往復か六七

里石町より青森へ~~往~~片道

八八二

往復一六四



東坡の猪立権記の  
いん

一つの果敢が独立して居るか、或は他  
 の大東亞の如く甚しく依存し、之れ自身  
 の獨立性を失つて居るか、例へば大東亞の  
 衛星都市の如く寧ろ大都市の一部と  
 思ふ可き位に自己性を失つて居るか、之  
 れを見定めよ。一つの半島として、これはその  
 果敢が自らその自身の果敢供給圏を  
 國家的に持つて居るか否か、その程度が  
 何れであるかを知らねば、即ち果敢  
 地は不安定な獨立地である。其の蔬菜  
 供給圏を失つて居る。依存的な半島である。  
 有蔬菜供給圏は不確かなものである。  
 蔬菜は蔬菜は自給自足であるから、その供  
 給圏を失つて居る。有しない。これは、即ち  
 には不安定な蔬菜供給圏がある。蔬菜供  
 給圏の獨立の程度が都市の獨立の程  
 度を決定するものである。

江戸の蔬菜供給圏  
と江戸の蔬菜供給圏

800世帯 150,000  
28項目

電話調査

新市免除を、新市指定を、何人か

の苦を上げ、事を求め、それ又の道程で、先ずし  
今にも人の情はあはれなりけり

本代

徳永 杉本

建設省地理調査所刊行  
国土実態図

井村 大沼

63 市川市  
135 米沢市

津波

74 福島市

同書

日本元金、新市指定、又新市指定

新市指定、新市指定

南工急進、新市指定

道社協社会福祉研究所

市川市 米沢市 福島市 新市指定

蔵城 新市指定 (労働組合)

新市指定 (青年会)

新市指定 (某位世代)

新市指定 (新市指定)

新市指定 (新市指定)

新市指定 (新市指定)

新市指定 (新市指定)

新市指定 (新市指定)

二十三日 九月十五日 二泊 父の墓 参り 父の墓 参り

天  
地  
の  
ま  
は  
の  
う  
ち  
の  
あ  
つ  
た  
ま  
を  
こ  
ろ  
に  
お  
か  
し  
て  
お  
も  
い  
だ  
す

す  
あさきの  
ゆへに  
てゐる人  
は、  
あ

の  
一  
つに  
先  
せし  
け  
よ  
か  
な

十  
九  
十  
二  
六  
よ  
五

11

足らぬすや  
はなれぬの  
空の月

紅葉頁  
手折  
5  
2  
吟  
し  
り  
道社協社會福祉研究所

十  
月  
十  
日

家毎の煙突の  
煙火煙

敬告  
此書  
行  
公  
行  
行

おせはあ

同  
記  
大

札幌市就学児童の調査  
札幌市就学児童の調査  
札幌市就学児童の調査

札幌市同業組合の調査  
札幌市同業組合の調査  
札幌市同業組合の調査

商工関係の調査  
商工関係の調査  
商工関係の調査

新札幌市街地の調査  
新札幌市街地の調査  
新札幌市街地の調査

札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査

大正北国新聞社の調査  
大正北国新聞社の調査  
大正北国新聞社の調査

札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査

札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査

札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査

札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査  
札幌市街地の調査

留書

留書

留書

留書

留書

本館に因りて（昭和）  
 神宮の御座り

健やかに初秋を迎へて去る連れ

我由人並にハクオンに如

月寒しの移羊場にて石狩の

常の廣手を今更に知りけり

牧場は只のいくと云ふと

程みを知りぬ夢の丘なり

編羊の平和にええと遺客は

こゝに候てり、いさわしくあを

数るの編羊の群、立ちたく

近づくて来る草の石の中

道社協社會福祉研究所

青空の下に我あり 草の原の上に我あり

秋をむ事あり。

宗族と青空原にむし

白雲とつゝ、穀を食ひけり

おれ

土曜日の夜

平塚

松山

丹波

滝川

鹿

都市に因る本

外白のま

都市多量

十二の力

良師

一、枯葉にふりかへ

一、札幌にのちるは

少く

おれ

都府招請の件

中へ不承件

平塚へ入評

1. テハート

2. 小島商店と市立店

3. 小島商店の生活協同組合

おれ

孤島商店、市立商店、商店、平塚、テハート

子等

行商大連、行商大連、行商大連

行商大連、行商大連、行商大連

# 芒ヶ坂の勢力圏 夕陽市の勢力圏

主

文化

一 統

文化施設  
住宅と駅

二 地

地価  
耕作地  
耕作地

三 行政

行政機関  
市役所

一 生活

生活協同組合  
生活協同組合

都市と都市の  
関係

都市と村落の境界線  
都市と都市の境界線

生活協同組合の境界線

生活協同組合としての村落の境界線

都市と都市の境界線

生活協同組合としての都市の境界線

[illegible]

満ちたる  
上より下へ  
果て

和感友人

弘治九年

華僑  
生

入浴器

魯取詐而後辱

四六の偶々世より

傷

スオイツ

(物) を賣るゝか、代をすゝか、ふゝか、  
 サ一ヒスを賣るゝか、代をすゝか、ふゝか、  
 賣るゝ代をすゝか、(の) 場、ちば、都、都、め

三

代り倍、  
サ  
ヒ  
フ

18  
2  
13  
11  
11  
11

サ  
一  
七  
五

82

42

卷五



陽

診瘡可

吹木土

陽春

$\frac{100}{100}$

ス、キノ市物の量販配布 二枚出、二枚

80  
90  
5  
4  
5  
4  
6

紀國

ル  
フ  
へ  
ネ  
テ  
リ  
ト

札幌 札幌市から  
毎日二軒の中央市から

合計

1  
4  
は  
二  
條  
而  
以  
之

ニ  
レ  
ノ  
ヲ  
ハ

1  
子  
女  
一條  
市  
田

中央第百五十一号  
大正五年四月、他は南  
一條子一丁也

北七條西平田町

丸山ソサエ市場

一  
け  
し  
う  
四  
時  
に  
入  
り  
て

七  
時  
五  
分  
五  
秒

地獄水の

叶の  
 対  
 からの  
 才  
 な  
 り  
 ず  
 都  
 高  
 も  
 云  
 へ  
 ん  
 下  
 地

同時に  
報復を  
受ける

ゆき  
の  
香を  
かす  
時  
草を  
うた

北滿鐵道會館發給會員會卡將局

都市計画

三十九号  
大正十一年  
大正十一年  
大正十一年

北海道庁の所管する村道に關する研究  
研究年順  
後

一、北海道に於ける村道の類型の調査

一、調査部族の決定

一、調査部族の調査地

一、調査部族の調査地

一、調査部族の調査地

一、調査部族の調査地

一、調査部族の調査地

都市はその人に<sup>人</sup>種<sup>の</sup>差<sup>を</sup>感じ<sup>て</sup>其傘下  
に下組可<sup>人</sup>なり<sup>を</sup>持<sup>つ</sup>て居<sup>る</sup>のは有<sup>る</sup>。

即ちその都市が大きい人に教を有する

場合は其傘下の地域の人の教もその

大より其の人は限らぬ。即ち都市に

は此は行政的機能をもたせ有るが

其の都市自体として発展して行く機能

を余り有しな<sup>し</sup>ものもある。其に

互に自休発展する性格を持つ。此が

地方へのサードエタ<sup>の</sup>機能の力である。

あ。この二類型は都市の根本的

二型である。所が。田舎と其一つの近代

の進んで進歩的都市は工業人口、交通業

人に<sup>は</sup>建設業<sup>の</sup>一つの中世的停滞的都市は

商業人とサードエタ人口が<sup>は</sup>附世の中核

のサードエタである。北海道総合開発委員会事務局

都市は都市として其の勢力圏を有し  
その中にセクターとして存在して居るもの  
である。此の勢力圏を強と看せし  
何に於て特殊産業を有するに由る相互に  
いふ。都市もある。それをもつて流通部  
市である。好むは孤立的生産都市  
である。この二つの都市の分岐は次第に  
産業的である。それらは高度のみに  
よりなる。それらは工業（鉱業、農業）  
と建設、交通、サービスを要する。

十勝大正市井の昔をいふ書  
森實友之 園珍

此書は人と人との間の相互拘束の  
關係である。

大塚久松著「近代道玄と其の

冬期になすのきよ

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

一、都市の北半増進淨書

イナウスにたいして、近代都市の

近代都市の

## 札幌市内消費者商品購入先

No. ....

| 品名    | 購入先 | 市内小売店 | 市内小売店 | 商店街 | 専門店 | 狸小路商店街 | 市内百貨店 | その他 | 計   | 市内小売店 | 市内小売店 | 商店街    | 専門店  | 狸小路商店街 | 市内百貨店 | その他  | 計      |
|-------|-----|-------|-------|-----|-----|--------|-------|-----|-----|-------|-------|--------|------|--------|-------|------|--------|
| 鮮魚    |     | 62    | 34    | 1   |     |        | 6     | 8   | 111 | 55.8  | 30.6  | (86.4) | 0.9  |        | 5.4   | 7.2  | 100.00 |
| 野菜    |     | 74    | 42    | 1   |     |        | 5     | 5   | 127 | 58.93 | 33.13 | (92.0) | 0.8  |        | 3.94  | 3.94 | 100.   |
| 肉類    |     | 65    | 38    | 10  |     |        | 10    | 6   | 129 | 50.4  | 29.4  | (79.8) | 7.8  |        | 7.8   | 4.6  | 100.   |
| 菓子    |     | 84    | 14    | 3   | 7   |        | 22    | 11  | 141 | 59.6  | 9.9   | (69.5) | 2.1  | 5.0    | 15.6  | 2.8  | 100.   |
| 果実    |     | 72    | 28    | 1   | 2   |        | 13    | 9   | 125 | 57.6  | 22.4  | (80.0) | 0.8  | 1.6    | 10.4  | 7.2  | 100.   |
| 文具    |     | 82    | 1     | 5   | 4   |        | 16    | 9   | 117 | 70.1  | 0.8   | (70.9) | 4.3  | 3.4    | 13.7  | 7.7  | 100.   |
| 歯ブラシ  |     | 61    | 9     | 3   | 12  |        | 13    | 17  | 115 | 53.0  | 7.8   | (60.8) | 2.6  | 10.4   | 11.3  | 14.8 | 100.   |
| タオル   |     | 38    | 7     | 5   | 16  |        | 33    | 11  | 110 | 34.5  | 6.4   | (40.9) | 4.5  | 14.5   | 30.0  | 10.0 | 100.   |
| 地下足袋  |     | 31    | 3     | 14  | 15  |        | 11    | 14  | 88  | 35.2  | 3.4   | (38.6) | 15.9 | 120.1  | 12.5  | 15.9 | 100.   |
| ゴム靴   |     | 25    | 1     | 46  | 35  |        | 16    | 11  | 134 | 18.7  | 0.7   | (19.4) | 34.3 | 26.1   | 11.9  | 9.2  | 100.   |
| 下着    |     | 22    | 2     | 17  | 32  |        | 65    | 4   | 142 | 15.5  | 1.4   | (16.9) | 12.0 | 22.5   | 45.8  | 2.8  | 100.   |
| 自転車   |     | 22    | 2     | 33  | 3   |        | 1     | 24  | 85  | 25.9  | 2.3   | (28.2) | 38.8 | 3.5    | 1.1   | 28.2 | 100.   |
| マフラー  |     | 17    | 1     | 16  | 31  |        | 57    | 7   | 129 | 13.2  | 0.8   | (14.0) | 12.4 | 24.0   | 44.2  | 5.4  | 100.   |
| 洋傘    |     | 17    | 1     | 43  | 28  |        | 29    | 10  | 128 | 13.3  | 0.8   | (14.1) | 33.6 | 21.9   | 22.7  | 7.8  | 100.   |
| 家具    |     | 16    | 1     | 45  | 6   |        | 26    | 16  | 110 | 14.5  | 0.9   | (15.4) | 40.9 | 5.5    | 23.6  | 14.5 | 100.   |
| 帽子    |     | 15    | 1     | 46  | 24  |        | 40    | 5   | 131 | 11.5  | 0.8   | (12.3) | 35.1 | 18.3   | 30.5  | 3.8  | 100.   |
| 皮靴    |     | 13    | 2     | 64  | 24  |        | 15    | 12  | 130 | 10.0  | 1.5   | (11.5) | 49.2 | 18.5   | 11.5  | 9.2  | 100.   |
| ミシン   |     | 13    | 1     | 40  | 2   |        | 12    | 29  | 97  | 13.4  | 1.0   | (14.4) | 41.2 | 2.1    | 12.4  | 29.9 | 100.   |
| 作業服   |     | 12    |       | 16  | 33  |        | 14    | 13  | 88  | 13.6  |       | (13.6) | 18.2 | 37.5   | 15.9  | 14.8 | 100.   |
| 学生服   |     | 9     |       | 29  | 40  |        | 29    | 6   | 113 | 8.0   |       | (8.0)  | 25.7 | 35.4   | 25.7  | 5.3  | 100.   |
| 服地    |     | 8     |       | 35  | 31  |        | 55    | 2   | 131 | 6.1   |       | (6.1)  | 26.7 | 23.7   | 42.0  | 1.5  | 100.   |
| 婦人子供服 |     | 6     |       | 24  | 32  |        | 50    | 6   | 118 | 5.1   |       | (5.1)  | 20.3 | 27.1   | 42.3  | 5.1  | 100.   |
| 紳士服   |     | 5     |       | 55  | 26  |        | 31    | 6   | 123 | 4.1   |       | (4.1)  | 44.7 | 21.1   | 25.2  | 4.9  | 100.   |

(小数点以下四捨五入)

補調査は、10月1日～10月31日

札幌短大経済学系P.77より整理作成

|     |     |
|-----|-----|
| 支   | 記   |
| 水   | ル   |
| は   | の   |
| 支   | 統   |
| 配   | /   |
| 神   | 人・イ |
| 支   | い   |
| 配   | ハ   |
| (西) | e/h |
| 二面  | p/h |
| 美唱  | 度   |
| 何厚  | あ   |
| た   | き   |
|     | s   |
|     | w   |
|     | t   |
|     | n   |
|     | a   |

No.